

神楽坂EhonNight

第4回 『赤ずきん』

『Le Petit Chaperon Rouge』
ギュスターヴ・ドレ、1870
シャルル・ペロー



『赤ずきん』が歩んだ道

—「赤ずきん」物語の300年の表現と時代を読む—

2019年

6月14日(金)

18:30～20:00

会場 高齢者福祉施設 神楽坂1階ロビー

講師 申明浩(シン ミョンホウ)氏

参加費 1,000円(要予約)



『赤ずきん』 飯野和義、2001



『Pitits chaperons loup's』 Nicole Claveloux/Christian Bruel 1997

世界中で出版される絵本『赤ずきん』は、
国や時代によって様々です。その違いは
何を示すのでしょうか？今回は、
その謎を解く興味深い講演となります。

口伝文学から文学になった

シャルル・ペロー以後、赤ずきんの物語は

絵本になり、現在に至っています。では、

どのように変化したのでしょうか。

その過程を見ることは、絵と文の表現

(挿絵から絵本の表現まで)はもちろん、

その奥に潜んでいる文化や社会、そして、

作家の価値観を読むことが出来る、

深読みをします。



『Pitits chaperons loup's』 Nicole Claveloux/Christian Bruel 1997

シン ミョンホウ

申明浩氏 プロフィール

東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学

現在、武蔵野美術大学(絵本論)、相模女子大学(韓国・朝鮮語)非常勤講師。

1992年、韓国初の絵本理論書『絵本の世界』の出版後、韓国初の本格的な絵本出版に関わる。2006年から韓国初めての絵本美術館設立に関わる。翻訳書には、『コリア驚いた韓国から見たニッポン』(朝日出版社)他多数。執筆、翻訳の他、日本と韓国で絵本論講座を行っている。



第5回 デンマーク編 (2019年9月予定)

第6回 アジア編 (2019年11月予定)

第7回 イタリア編 (2020年1月予定)

お申込み ehonnight@gmail.com

メールでのご予約の際は必ず「6月のEhonNight」本文に

「お名前フルネーム(読み仮名)、電話番号、ご参加人数(大人/子ども)」をお知らせください。

お問合せ ☎ 03・5227・2772 (サザンカンパニー 長岡)

主催：神楽坂EhonNightの会 協力：日韓絵本交流会 北欧留学情報センター